

平成23年度 自己評価書

学校名 和歌山市立伏虎中学校

校長名 下店文男

作成日

平成24年2月13日

学校教育目標

活気に満ちた伏虎中学校 — 美しく、仲良く、静かで、活力ある学校

	開かれた学校	豊かな心	確かな学力	
本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> 保護者や地域の人から信頼される学校づくりをめざす。 学校開放月間等を利用し、多くの保護者に学校のさまざまな活動を参観していただく。 	<ul style="list-style-type: none"> きめの細かい生徒指導を行う。 校外学習、学習発表会などの学校行事の充実を図る。 進路指導を計画的にすすめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習規律を確立し、すべての生徒が授業に集中できる環境をつくる。 指導方法の工夫改善を図り、さらなる学力向上努める。 	
取組の具体的方策	<ul style="list-style-type: none"> ホームページ、育友会総会、進路説明会等の機会に平素の活動について情報提供をする。 毎朝のあいさつ運動を継続する。 子どもに関わる出来事には迅速に対応、連絡。家庭との連携を密にし、協力関係を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> 外部からの講師を活用し、交通マナー、喫煙防止、非行防止等の指導を行う。 行事の中では、職員の支援を最小限にとどめ、できるだけ生徒に運営をまかせる。 2年時に行う職場体験を指導の中心において、1年時より3年間を見据えた進路指導を進め 	<ul style="list-style-type: none"> 朝の10分間の読書タイムを確保し、落ち着いた雰囲気をつくる。 2・3年生において、英語の少人数指導を充実させる。 校内の特別支援教育委員が中心になり、個々の生徒の理解・指導について現職教育を立案し、職員の共通理解を図る。 	
取組の成果と課題	<p>学校のことをよく知っていただいて、理解を得られている保護者が多い中、少数ではあるが、学校への関心が低かったり、学校の対応に理解が得られない保護者もいる。広報不足もその一因であろうか。</p>	<p>学校や外部の講師等の指導が奏功している。いくつかの大きな学校行事がある程度、生徒の力で大きなトラブルなくやりこなせた。</p> <p>また、2年生の職場体験学習では、多くの事業所からまじめによくがんばったというお褒めの言葉をいただいた。</p>	<p>朝の読書タイムをはじめ、どの学年のどの教室も落ちついた授業が行われている。それが学力面に表れている。個々の授業の工夫、生徒への指導・配慮等においておおむねうまくいっている。ただ、生徒の発表への意欲はやや消極的で、声も小さいようである。</p>	
次年度改善に方向けての	<p>学校便りの発行やホームページの充実等に努める。</p>	<p>少数ではあるが、遅刻や服装面(特に女子のスカート丈)について指導が必要な生徒がいる。家庭との協力関係をさらに深めていかなければならない。</p>	<p>学習規律の維持継続に努める。学習内容の理解に加え、思考力、判断力、表現力を高める授業を工夫する。</p>	

その他学校運営についての課題や計画

今年度の学習発表会の折に、地元3小学校の6年生を招いた。短時間であったが、伏虎中学校のことが少しわかったと好評であった。今後も何かいい交流ができればと考えている。